

栗原市観光産業づくりシンポジウム

◇とき 12月23日 金

【午後1時30分～午後5時】

◇ところ 一迫ふれあいホール

◇参加費 **無料**



みやぐち としみち

宮口 侗迪 氏

東日本大震災によって未曾有の被害を受け、加えて原発事故による風評被害で、観光産業は大きな痛手を受けました。

このような状況のなか、早期復興に向け観光の果たす役割に大きな期待が寄せられています。

今、震災で大変な時だからこそ、地域資源の真意、価値を見直す必要があります。そのきっかけ、または活用する手段として観光やツーリズムがあり、実践することによって経済的な価値の創出や人材の育成へと繋がり、いずれ観光産業として発展するのではと考えます。

本シンポジウムを通じて、多くの方に地域資源の価値を再認識していただき、観光やツーリズムを中心とした地域活性化への取り組みや活動へ興味・理解をもっていただくことを目的に開催します。

早稲田大学教育・総合科学学術院教授
文学博士

1946年 富山県に生まれる

1971年 東京大学理学部地理学科卒業後、
同大学院博士課程に学ぶ

1978年 早稲田大学講師、助教授を経て

1985年 早稲田大学教授
現在に至る

～・～・～・～ スケジュール ～・～・～・～

■ 13:00 開場 (ホール)

■ 13:30 開会

■ 13:40 【第1部】基調講演・事例発表

13:40 - 14:50

◇基調講演：「地域の価値の再認識（学び）と人材育成」
早稲田大学総合科学学術院教授
文学博士 宮口 侗迪 氏

14:50 - 15:30

◇事例発表

- ①「地域資源を活用した交流と体験のプログラム」
（発表者）くりはらツーリズムネットワーク事務局
- ②「里山の食材を活用して 一地域の食文化を伝える」
（発表者）千葉 優子 氏（花山村塾）
- ③「栗原の長屋門を通じて 一地域の歴史と文化を伝える」
（発表者）菅原 敏允 氏（くりはら磨き隊）
- ④「自然豊かな暮らしの中で 一花山ならではの農業を体験」
（発表者）伊藤 廣司 氏（山菜茶屋 ざらぼう）

■ 15:40 【第2部】ワークショップ

次のプログラムを体験しながら新たなプログラムの創出などを考えます。

①干し大根づくり体験

（体験指導）くりはら食ツーリズム研究会

②ミニ畳づくり体験

（体験指導）有限会社 只見工業所

③蓮クラフトづくり体験

（体験指導）山谷 信子 氏（蓮クラフト作家）

※ワークショップの見学は自由ですが、体験希望者は申込書（裏面）の【第2部まで参加】に○印を記入ください。

■ 16:50 全体講評

講師 宮口 侗迪 氏による全体講評

■ 17:00 閉会・解散

■ 18:00～ 交流会 希望者【有料】

会場：一迫 丸勝食堂 会費：4,000円

【お問い合わせ／申し込み先】 栗原市産業経済部田園観光課（くりはら研究所）

〒989-5612 栗原市志波姫新熊谷284番地3（くりこま高原駅内）

■ TEL 0228-22-1151 ■ FAX 0228-23-5370

■ E-mail kanko@kuriharacity.jp

主催 ▶ 国土交通省国土政策局地方振興課

主管 ▶ 栗原市・くりはらツーリズムネットワーク

協力 ▶ 栗原市観光物産協会・株式会社 価値総合研究所

